

西宮市のシティプロモーション

市民参加型の情報発信で 定住促進を狙う



西宮市は、市の総合戦略として「西宮らしい暮らしを楽しむまち～ライフスタイル発信都市」を基本コンセプトに、シティプロモーションの取り組みを展開している。特に、都市ブランドの発信強化に力を入れ、西宮での豊かな暮らしを訴求するウェブサイトNISHINOMIYA COMMONS(ニシノミヤ コモンズ)を3月に立ち上げた。恵まれた自然環境や日本酒・紙漉きなどの伝統文化、スイーツ・ベーカリーなどの魅力的な店舗等を様々な切り口で記事コラムにして市の魅力を掲載している。今後、SNSの活用や市民ライターなどによる



▲ロゴは、COMMONS「共有地」の「C」のスパイラルをイメージし、市民がみんなで育てるメディアを表現している。

市民参加型のサイトとして地元情報を定期的に掲載していく予定。

同市は、昭和38年に「文教住宅都市宣言」を行い、文化と教育を柱とした良好な住宅都市を目指すまちづくりを進めてきた。この基本的な方向性を引き継ぎつつ、将来にわたって市民が住み続けたいまちとして定住促進につなげていきたいと考えた。市の担当者は、「高度経済成長期に文教住宅都市宣言を行ったことに価値があり、それを継承していく意義は大きい。今後も、ウェブサイトを通して市の魅力を発見してもらえたら」と話す。



▲学校プロモーションサイト「みやこスクールライフ」も同時にオープン、相互連携している。

プロバスケットBリーグ 西宮ストークス B1昇格を決め、B2初代王者にも

男 子プロバスケットボールBリーグ、兵庫県唯一のプロチーム西宮ストークスがB2リーグを制し、B1昇格を決めた。

5月5日に所属の中地区優勝を決めると、続くB2セミファイナルで群馬に勝利しB1昇格が決定。5月20日東京代々木第2体育館で行われたファイナルでは、島根を78-53と20点以上の大差で退けB2初代王者に輝いた。

既存のNBAリーグとbjリーグを統一して発足したBリーグは2016年9月に開幕。西宮ストークスはB2からのスタートとなった。開幕から9連勝とスタートダッシュに成功したものの、竹野主将、エース道原選手



B2制覇を喜ぶストークスのメンバー ©Nariaki Ueda/NISHINOMIYA STORKS

手など主力をケガで欠き、苦しい戦いを強いられた時期もあった。中地区では名古屋との首位争いが熾烈を極め、地区優勝決定は最終節までもつれたが、選手たちに勇気を与えたのが、西宮市立中央体育館をストークスグリーンに染めたファンプースターの大声援だった。B2ファイナルのMVP、道原紀晃選手は「決勝は今季一番いい試合だった。西宮のみなさんと一緒に喜ぶことができてよかった」と笑顔を見せた。Bリーグ2年目となる2017-2018シーズンは「B2王者 西宮ストークス」としてトップリーグに乗り込む。



ファイナルMVP 道原紀晃(どりはらのりあき) 選手のプレー ©Nariaki Ueda/NISHINOMIYA STORKS

神戸港の紋章が完成 フリーで使用可能

神 戸港は開港150年を記念して、神戸港の自然や歴史に由来する紋章を制作した。多くの市民や事業者に使用してもらうことを目的としているため、申請すれば営利目的でも無料で使用することができる。市の担当者は、「市民の方にはほとんど使ってほしい」と神戸港が広く周知されることを期待している。



中心の盾の部分の小紋章、全体の図案を含めたものが大紋章。市花のあじさいや市の木であるさざんか、六甲山をイメージした緑色のマントなど、神戸由来のモチーフが散りばめられている。



制作にあたっては、スコットランドの公的機関である紋章院のアーティストに依頼し、紋章学に基づいた正式な西洋式

紋章に、神戸ゆかりの図案が盛り込まれている。こういった紋章は海外ではよく用いられ、船舶が港に立ち寄った際、記念として紋章入りの盾を渡すことが多い。日本では東京港や大阪港がオリジナルの紋章を作成しているが、神戸では今まで、ポートタワーを含めた神戸らしい景色を盾に刻印していた。紋章入りの記念盾のお披露目は、7月15日から行われる「帆船フェスティバル」になる予定。

なお、紋章を使用する際に許可は不要だが、申請が必要。詳しくは、神戸市のホームページへ。



小紋章をあしらったネクタイやスカーフ。石田洋服店(神戸市東灘区)が発売している。

須磨海浜水族園 完全民営化へ

神 戸市は、須磨海浜水族園の施設の老朽化に伴い、建て替えと運営の完全民営化を決めた。今年度内に、民間施設として再整備を行う事業者を公募し、2022年度の開園を目指す。

須磨海浜水族園は、1957年に公営の神戸市立須磨水族館としてオープン。1987年にいまの建物が完成し現在の名称となった。2006年から民間事業者が運



営を担う指定管理者制度を導入してきたが、今後更なる魅力向上を目指し民営化することで「須磨地域全体の活性化につなげたい」と神戸市の担当者は話す。なお、建て替えについては、「生き物の安全面を確保しつつ、できるだけ閉鎖する期間を短くしたい」としている。

奥池あそびの広場 BBQ場リニューアルオープン

芦 有ドライブウェイ株式会社が運営する奥池あそびの広場バーベキュー場(芦屋市)が、7月15日リニューアルオープンする。

2015年11月末に閉園した同広場は、業務を委託し2016年春にバーベキュー施設として再オープンする予定だった。しかし、諸般の事情で同年中に事業の中止が決定。今回、直営で元のファミリー向



けバーベキュー場として再開することになった。グラウンド・ゴルフ場は廃止され、芝生広場に生まれ変わる。バーベキュー施設は以前とほぼ変わらず利用できる。入園料は若干下がり、貸し出しのあった備品がなくなるなどの変更点がある。詳細は芦有ドライブウェイのHPにて。

人ごとではない詐欺被害 ～被害を未然に防ぐには～

協力:兵庫県警察

昨年、兵庫県内で発生した特殊詐欺被害件数は425件で、被害額は約14億8000万円に及んでいる。今年4月末現在では、すでに被害件数が270件、被害額は約4億4,000万円となっており、被害が続発している。

【こんな言葉に要注意】

- 還付金…電話で還付金のやりとりは絶対にあり得ない
- ATMで手続き…ATMで振り込むことはあっても振り込まれることはない
- 電話番号が変わった…子ども等の実名を名乗る詐欺もあるので油断しないで確認
- 現金・通帳・カードを預かる…警察・役所や銀行が窓口以外で預かることはない
- 暗証番号教えて…役所や銀行の業務に暗証番号は不要である
- 有料サイト…サイトを見ただけで会員登録はされない
- 電子マネーの番号を送れ…電子マネーの番号を聞かれたら間違いなく詐欺

【被害に遭わないためにできること】

- 非通知の電話には出ない…迷惑電話拒否機能等がついた防犯機能付き電話機などを活用し、不審な電話は取らず、知り合い以外からの電話を受ける際には相手に「録音する」とはっきり告げること。
- 一人で判断しない…相手は人をだますプロ集団である。お金や貴重品に関する電話があったときには、絶対に一人で判断せず、家族や友人、警察に相談すること。
- 家族と定期的に連絡をとる…離れて暮らす家族に定期的に連絡し、コミュニケーションを取るとともに、注意喚起をすること。
- 絶対に油断しない…若者から高齢者まで、実際に幅広い被害者が出ている。「私に限って」「うちの親に限って」と油断をしないこと。



振り込め詐欺の
手口等の詳細は、
兵庫県警の
HPにも掲載



<http://www.police.pref.hyogo.lg.jp/furikome/index.htm>